ニュースリリース

2025 年 7 月 30 日
株式会社ＰＡＬＴＡＣ
大王製紙株式会社
株式会社 T2

自動運転トラックが変革　新・サプライチェーン構築に向けて実証開始
～卸売業全面協力で「物流 2024 年問題」解決へ～

大王製紙株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：若林 賴房、以下「大王製紙」）、株式会社ＰＡＬＴＡＣ（大阪府大阪市、代表取締役社長：吉田 拓也、以下「ＰＡＬＴＡＣ」）および株式会社 T2（東京都千代田区、代表取締役 CEO：森本 成城、以下「T2」）の 3 社は共同で、自動運転トラックを用いた幹線輸送*1の実証を、2025 年 7 月 3 日から関東ー関西間の高速道路一部区間で開始しました。

ＰＡＬＴＡＣ ＲＤＣ関東 と T2 トラック

大王製紙のエリエール製品を積んだ T2 トラック

本実証は、化粧品・日用品卸売業最大手であるＰＡＬＴＡＣとエリエールブランドのトイレットペーパーなどの日用品を生産・販売する大王製紙が、輸送に合わせた発注タイミングや積載率向上に向けた発注数量、運行スケジュールに合わせた入庫時間の調整を行い、レベル 4*2自動運転トラックによる幹線輸送を目指す T2 と共に、「2024 年問題」などを背景に将来トラックドライバー不足が深刻化するとされる長距離輸送の効率化を目的に開始しました。

上記のレベル 4 自動運転トラックによる幹線輸送の開始に先立ち、自動運転トラックで持続可能な物流が実現できるかを確かめるべく、T2 が開発したレベル 2*3自動運転トラックで、関東・関西にそれぞれ所在する大王製紙の物流センター（ＤＣ）とＰＡＬＴＡＣの大型物流センター（ＲＤＣ）の間で貨物を輸送し、オペレーションの有効性を検証します。

【概要】

時期：2025 年 7 月 3 日から開始し、複数回実施の予定

場所：往路　大王製紙　厚木ＤＣ（神奈川県）⇒ＰＡＬＴＡＣ　ＲＤＣ堺（大阪府）

復路　大王製紙　西淀川ＤＣ（大阪府）⇒ＰＡＬＴＡＣ　ＲＤＣ関東（埼玉県）

上記拠点を結ぶ高速道路一部区間で実証実施

役割：ＰＡＬＴＡＣ　大王製紙から商品の受け入れ

大王製紙　ＰＡＬＴＡＣへの商品の販売

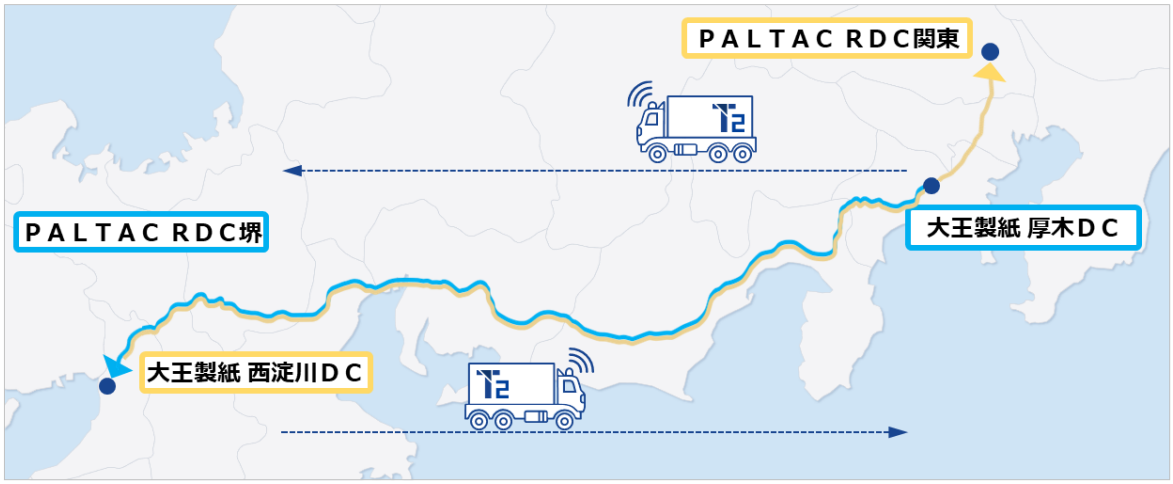
T2　　実験用車両の提供

検証内容（すべての実証はドライバーが乗車し、レベル 2 相当で実施）：

・貨物を積載した幹線輸送における自動運転の走行ルート及び走行リードタイム検証

・想定したオペレーションパターン、スケジュールの有効性検証

・輸送品質の確認



《今後の展望》

大王製紙は、今回行ったレベル 2 自動運転の実証実験結果を踏まえ、課題抽出やオペレーション確認を行い、今後の自動運転の実現に向けて進めてまいります。

*1 工場で生産された商品を全国の配送拠点に主要な輸送ネットワークを通じて効率的に運ぶこと

*2 特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態

（参照：https://www.mlit.go.jp/common/001226541.pdf）

*3 ドライバーの監視のもとに行われる、特定条件下での高機能自動運転

【各社概要】

■株式会社ＰＡＬＴＡＣ

本社所在地：大阪府大阪市中央区本町橋２番46号

代表者：代表取締役社長　吉田 拓也

設立日：1928年12月22日

事業内容：化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

企業サイト：https://www.paltac.co.jp/

■大王製紙株式会社

本社所在地：東京都千代田区富士見二丁目１０番２号 飯田橋グラン・ブルーム

代表者：代表取締役 社長執行役員　若林 賴房

設立日：1943年5月5日

事業内容：　紙・板紙・パルプ及びその副産物の製造加工並びに販売

企業サイト：https://www.daio-paper.co.jp/

■株式会社 T2

本社所在地：東京都千代田区内幸町二丁目 2 番 3 号 日比谷国際ビル 1階

代表者：代表取締役 CEO 森本 成城

設立日：2022 年 8 月 30 日

事業内容：自動運転システムの開発、レベル 4 自動運転トラックによる幹線輸送サービス事業、幹線輸送に付随した関連サービス事業、その他関連サービス事業

企業サイト：https://t2.auto/

公式 X：https://x.com/t2_auto

以 上

【お問い合わせ先】

株式会社ＰＡＬＴＡＣ　経営企画本部　ir@paltac.co.jp

大王製紙株式会社　広報・ＩＲ課　kouhou@daiogroup.com

株式会社 T2　広報　pr@t2.auto